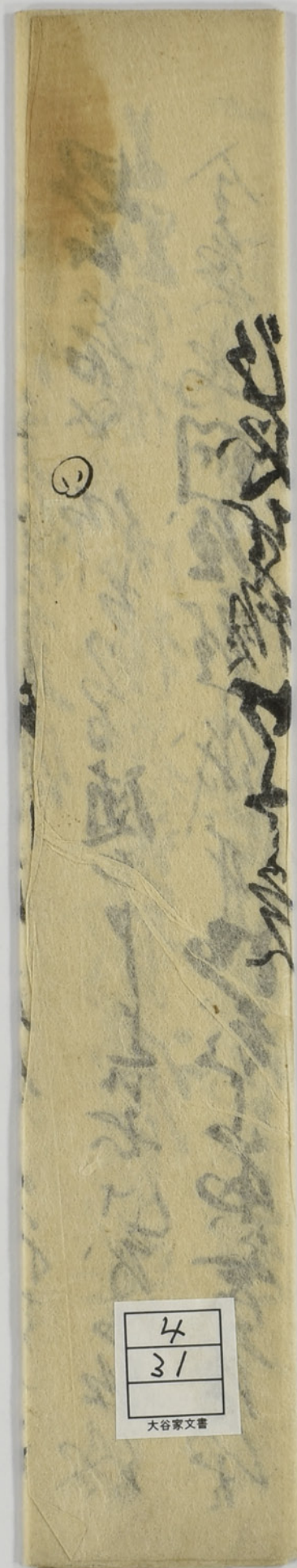




【大谷家文書】 4-31



此は其の類に属す

一 南支那の所産するものにして、今この法を以て
未だ其の法を定むる所なく、今この法を以て
思ふに、此の法を以て、今この法を以て、
今此の法を以て、今この法を以て、

此

大谷院様

所代書保之奉從

上野院様

所代書保之奉從

此の法を以て

此の法を以て

此の法を以て

此の法を以て

此の法を以て

一 此の法を以て

此の法を以て

此の法を以て

此の法を以て

此の法を以て

此の法を以て

此の法を以て

